

奈良県東部山間地域の医療崩壊を防ぐため、宇陀市立病院への奈良県の積極的な関与と強力な指導・財政支援を求める意見書

奈良県東部地域に属する宇陀市、山添村、曽爾村および御杖村は、全域が過疎地域に指定された中山間地域であり、地域内に点在する7つのへき地診療所と、それらを支援する宇陀市立病院が一体となり、地域住民の生命と健康を守ってまいりました。宇陀市立病院は、東部地域（宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村および東吉野村）における唯一の拠点病院として、救急医療や外来・入院対応のみならず、へき地診療所への医師派遣、巡回診療、訪問診療など多大な社会的使命を果たしています。近隣町村の首長等からも、宇陀市立病院の機能強化と安定運営を望む声が強く寄せられています。

しかし、急激な人口減少・高齢化、物価高騰や人件費の上昇に加え、医師・看護師の確保難により、宇陀市立病院および各へき地診療所の経営と診療体制は崩壊の危機に直面しております。これまで宇陀市および宇陀市立病院がほぼ単独で担ってきた財政・運営支援は限界に達しており、このままでは東部山間地域全体の地域医療の崩壊を免れません。「奈良県南部・東部振興基本計画」では、「住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり」の柱として医療の確保が掲げられているものの、東部地域の医療に特化した具体的な施策や十分な予算措置が示されていないのが現状です。東部地域の医療崩壊を防ぐためには、広域自治体である奈良県の積極的な関与と強力な指導・財政支援が急務であります。

よって、下記事項の速やかな実現を強く求めるものです。

記

- 一、「奈良県南部・東部振興基本計画」において、東部地域（宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村および東吉野村）の医療現状と課題を的確に反映し、具体的な医療確保支援策の明記およびそれに基づく確実な予算措置を速やかに行うこと。
- 一、東部地域における医療体制の維持・強化に向け、関係市町村と連携して積極的な関与と財政・運営支援を行うこと。
- 一、奈良県立医科大学等との連携をさらに強化し、宇陀市立病院およびへき地診療所への常勤医・代診医の安定的な派遣・定着に向けた県独自の強力な医師確保策を推進すること。

一、奈良県地域医療構想の推進にあたり、宇陀市立病院が担う東部山間地域の中核的役割（救急・へき地支援等）を正當に評価し、持続可能な医療提供体制の構築に向けた指導および財政的助成を行うこと。

一、救急医療の適正受診の啓発や、救急医療電話相談（＃7119・＃8000等）の周知徹底を県下全域で強力に推進し、医療現場の負担軽減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年9月25日

奈良県議会議長 様
奈良県知事 様

奈良県宇陀市議会